

北区中学生及び高校生のための

職業教育キャラバン事業

将来あらゆる分野の職業にチャレンジできるよう、様々な分野で活躍している講師を中学校・高等学校に派遣し、職業を選択した経緯、方法、仕事への情熱とやりがい、苦心などをお話しいただきます。お話を通して具体的で明確な職業イメージを持つことができるように実施し、職業選択の一つの参考となるような講座です。

令和3年度事業実績

(今年度の実施校は、7校でした。)

桐ヶ丘高等学校 I部 6月18日(金) 新田 ユリ さん(指揮者)



<生徒の感想>

- ・指揮者は人を繋ぎ、文化を繋ぎ、時を超えて時代を繋ぐ仕事だと思った。
- ・相手を見る、相手を理解し、伝えることがとても大切。気持ちや思いを伝えることで伝えたいことが伝わる。
- ・自分のやりたいことにまっすぐで素敵だと思いました。

桐ヶ丘高等学校 II部 6月18日(金) 大塚 紀子 さん(鷹匠)



<生徒の感想>

- ・性別によって職業に偏らないことが必要だし、鷹匠という仕事についても知れた。一生続けたいと思う仕事に出会いたいと思いました。
- ・好きなことを続けていれば何かが見えてくると思いました。

桐ヶ丘高等学校 III部 6月18日(金) 鈴木 啓美 さん(フェアトレード)



<生徒の感想>

- ・「行き当たりばったり」という言葉がものすごくよい言葉だと思いました。
- ・自分たちが消費している物の元をたどれば 苦勞して低賃金で働く人たちがいる場合があることを考えていきたい。
- ・どんな立場の人間であってもお互いを早朝することが大切だと思った。

飛鳥高等学校 7月7日(水) 胤森 なお子 さん(フェアトレード)



<生徒の感想>

- ・フェアトレードの興味を持った。フェアトレードのような人々の約に立つ仕事をしたいと思う。
- ・一部の国の貧困問題は、世界全体の人々の問題であると思った。
- ・自分たちが消費している物の元をたどれば、苦勞して低賃金で働く人たちがいる場合があることを考えていきたい。

明桜中学校 7月9日(金) 小田嶋 良 さん(パイロット)



<生徒の感想>

- ・目の前の壁に向かうことは怖いですが、乗り越えた時の「達成感」や「人生の喜び」は言葉に表すことが出来ないと思う。
- ・「何もやらないで失敗するよりも、沢山の努力をして失敗したほうがいい」という言葉が印象に残った。
- ・今日の出会いで人生に光を感じた。辛いことも乗り越えてゆきたい。

稲付中学校 10月16日(土) 郡司 芽久 さん(研究者)



<生徒の感想>

- ・お話を聞いて自分の未来は無数に広がっていると思いました。
- ・自分のやりたいことは日常の中にもつながっていることがわかった。
- ・自分の好きなことに関連付けて、将来の可能性を広げるためにも勉強は怠たらずに励むことが必要だと思った。

赤羽岩淵中学校 10月28日(木) 宮本 二史子 さん(消防士)



<生徒の感想>

- ・消防隊にもいろいろな役割があり、地域と密着することも必要だとわかった。
- ・私の将来の夢は救急隊員になることです。試験で合格するために勉強を頑張りたいと思います。
- ・消防士の活動にはいろいろな種類のものがある事に驚きました。

神谷中学校 11月19日(金) 宮本 二史子 さん(消防士)



<生徒の感想>

- ・男女で体力差があるが、女性だからこそできることもあるということがわかった。
- ・女性が働きやすい仕組みや支援体制があることがわかった。
- ・その時々で興味を持ったことを調べてみる、それが将来の選択肢を広げることになるという話が印象的だった。

桐ヶ丘中学校 11月24日(金) 鈴木 啓美 さん(フェアトレード)



<生徒の感想>

- ・将来の夢は世界中の人を助け、笑顔にすることです。鈴木さんのように仕事を楽しくて自身が持てるカッコイイ大人になりたいです。
- ・学校に行けない子供が日本人口より多いときいてとても驚きました。鈴木さんのようにいろいろなことに挑戦して経験を積んでいきたいと思う。